

ニッポン ドクター和の 臨終図巻



僕はこの夏で町医者を卒業しましたが、医師免許だけはずっと持っていたと思います。

その理由の一つに、もしも目の前に急病の人がいたとき役に立ちたいという思いがあります。新幹線や飛行機で「お客さまの中にドクターはいませんか？」とアナウンスが流れたら、すぐに駆け付けたい。今までもそんな状況が何度かありましたし、この夏も実は一度、ある方を助けました。

長時間の移動中に急変を訴える人は意外に多いです。しかしこの連載で、機上で絶命した人を取り上げるのはこれが初めてです。

アフリカのコンゴ(旧ザイール)出身。身長2.09m。一度見たら忘れられない大きな瞳と人懐っこい笑顔。鈴木宗男議員の秘書として、また格闘家としても活躍したジョン・ムウェテ・ムルアカさんが、8月30日の羽田発トルコ

ジョン・ムウェテ・ムルアカ

321

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。公益財団法人日本尊厳死協会副理事長としてリビング・ウィルの啓発を行う。映画『痛くない死に方』『けっぴな町医者』をはじめ出版や配信などさまざまなメディアで長年の町医者経験を活かした医療情報を発信する傍ら、ときどき音楽ライブも。

・イスタンブール行き航空機内で亡くなったと、鈴木議員が公表しました。享年62。

死因は明らかにされていませんが、ムルアカ氏は心臓に持病がありペースメーカーを装着していたとのこと。機内では複数のドクタ



鈴木宗男氏の秘書、格闘家

ーが駆け付けたそうですが、帰らぬ人となってしまいました。

ペースメーカーとは、徐脈性不整脈など心臓に疾患のある人が装着する心筋に電気刺激を与える埋め込み型の医療機器の総称です。わが国では今、毎年4万人以上が新たにペースメーカーを装着しています。大きさは直径4〜5センチで厚さ5〜6ミリくらい。埋め込み手術は約1〜2時間で終わり、10日程度で退院できます。装着後は、3〜6カ月に一度は定期検診を受けることが推奨されています。

日常生活において特に禁止事項はありませんが、長風呂やサウナは控えたほうがいいでしょう。また、強い電磁波を発する電気製品に近づくことで影響を及ぼす可能性は否定できません。しかし飛行機の搭乗は問題がないとされていますから、ムルアカさんの死に直接ペースメーカーが関係していたのかどうかは、わかりません。

先の鈴木宗男氏のブログには、このようにつぶられていました。〈昨夜8時47分、飛行機が飛び立つ前「これから行ってきます。本当に有難うございました。いろいろお世話になり感謝しています」これが最後の会話となりました。たったただ涙が流れた〉

虫の報せ、というのでしょうか。「あれは今生のお別れの言葉だったのか」と思えるメッセージを受け取ることが時にあります。ムルアカさんのご長男のお名前は「ムネオ君」というのだとか。国境を超え、さまざまな困難を乗り越え、お二人の関係性は特別なものであったと観察します。

搭乗機内で帰らぬ人に